

2025年11月14日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証プライム市場・名証プレミアム市場

「PRIDE指標2025」にて最高位「ゴールド」を10年連続受賞、
「レインボー」を5年連続受賞

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)は、このたび当社を含む野村グループ7社が、職場におけるLGBTQ+への取組みの評価指標である「PRIDE指標2025」※1におけるすべての項目で基準を満たすと評価され、最高位の「ゴールド」を受賞したことをお知らせします。当社は、「PRIDE指標」がスタートした2016年より10年連続で「ゴールド」を受賞しています。さらに、ゴールドを受賞した企業として、コレクティブ・インパクト型※2の取組みが評価される「レインボー」も設立以来5年連続で受賞しました。

＜PRIDE指標「ゴールド」受賞＞

野村ホールディングス株式会社(10回目)
野村アセットマネジメント株式会社(4回目)
野村信託銀行株式会社(4回目)
野村バブcockアンドブラウン株式会社(4回目)
野村プロパティーズ株式会社(4回目)
野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社(3回目)
野村ビジネスサービス(3回目)

＜PRIDE指標「レインボー」受賞＞

野村ホールディングス株式会社(5回目)



野村グループでは、「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」というパーパスのもと、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(以下「DEI」)の推進を重要な経営戦略の一つと位置付けてさまざまな取組みを行っています。全社員が受講する野村グループ・インクルージョン研修の実施や社員が自発的に活動するDEI社員ネットワークによるLGBTQ+への理解を深めるための啓発活動の支援、ジェンダーを問わず福利厚生制度を利用できる「パートナーシップ制度」の導入、トランスジェンダーの働き方を支援するガイドラインの作成など、LGBTQ+当事者が自分らしく安心して働くことができる環境の整備を進めてきました。

今回の「レインボー」の受賞では、2023年に作成した小冊子『[LGBTQ+ユースのための自分らしいライフプランとお金の話](#)』を活用した継続的な啓発活動と地域や組織を超えた活動範囲の拡大が評価されました。すべての人々にとって切り離せないお金という切り口を通じて、LGBTQ+当事者に立ちはだかる社会課題に視点を向け、LGBTQ+当事者のみならずアライ^{※3}にとっても理解を深めるきっかけになればと考え取り組んでいます。

当社は今後も、LGBTQ+を含む多様なバックグラウンドを持つ社員が安心して、やりがいを持って働くことができる職場風土を醸成し、一人ひとりが最大限にポテンシャルを発揮することで豊かな社会の実現に貢献していきます。

野村グループのDEIの取組みについては、当社[ホームページ](#)をご参照ください。

※1 PRIDE指標は、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の5指標について評価項目を設定し、企業の取組みを評価したものです。

※2 コレクティブ・インパクトは、「（企業や行政、NPOなどの）異なるセクターから集まった重要なプレイヤーたちのグループが、特定の社会課題の解決のため、共通のアジェンダに対して行うコミットメント」と定義されています。

※3 英語のAlly（同盟、支援者）が語源。LGBTQ+をはじめとする性的マイノリティを理解し、自分にできることは何かを考えて行動する支援者のことです。

以上